

ぶなの森

30 周年記念誌

「福祉のこころ」は次の30年へ



じょうせいふくしかい
社会福祉法人 常成福祉会



contents ～もくじ～

はじめに／あゆみ Past&present／だからみんなでありがとう
Sketch Collection／社会福祉法人としての取り組み／次の世代へ
キャリアパスについて／暮らしを支える Life support／ファボ



ふくころ

「福祉のこころ」は次の30年へ

密閉・密集・密接を避ける新しい生活様式が求められているが
私たちの生活は大きく変わるのだろうか
出会い ふれあい 支え合いは 地域社会の原点だが
地域が育んできた絆は保てるのだろうか
変えること 守り続けることに真剣に向き合い
新しい福祉文化の創造に挑戦しなければならない
常成福祉会は30年間のご支援に感謝し
ともに生きる地域社会の実現を目指します

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

常成福祉会は持続可能な開発目標（SDGs）に取り組んでいます

私たちが大切にすること

1 心地よいサービスの提供

福祉はみんなが主役のダブルハピネス。わたしたちは利用者の方々と支え合いながら、お互いに幸せを共有します。

2 すべての人の権利の保障

人権は支援者の感情や思いには左右されません。わたしたちは誰もが人として生きる権利を保障します。

3 とともに生きる豊かな地域社会の実現

福祉施設は地域の社会資源であり、地域はみんなの支え合い。わたしたちは地域社会の一員としての自覚を高め、広い視点をもって地域に貢献します。



法人設立

1990～（平成2年）

平成2年1月26日 法人設立

平成2年7月1日 丹沢レジデンシャルホーム開所

花鳥デイサービスセンター開所



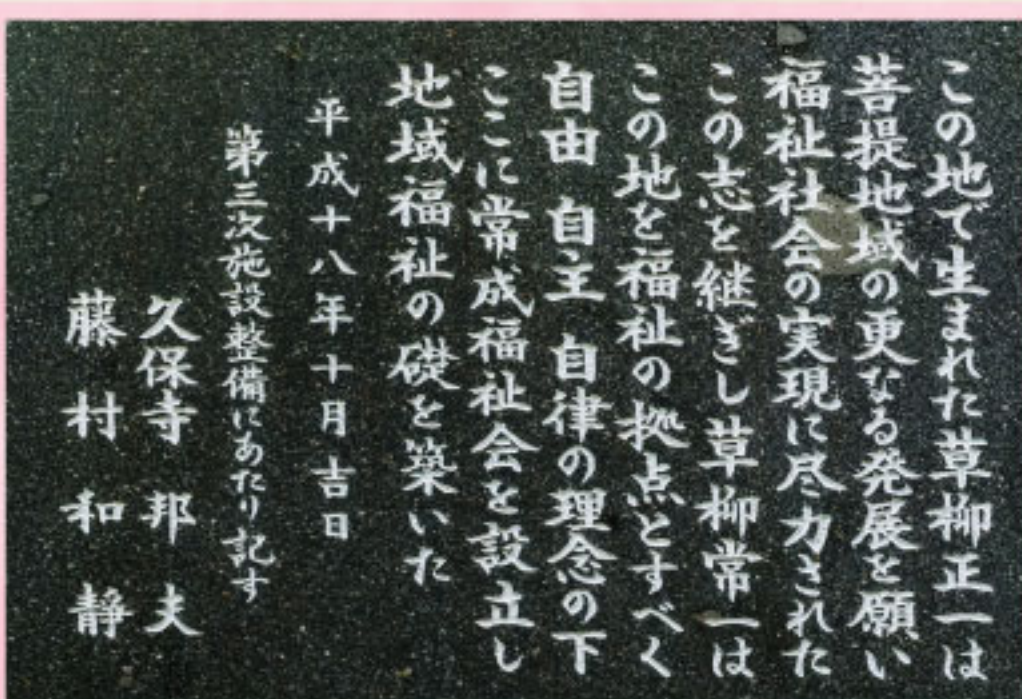
このシンボルマークは常成福祉会の頭文字「J」と車椅子の形を重ねてデザイン化したものです。



開所式の様子(平成2年)

新しい福祉思想の実現を目指して

従来の収容保護を目的とした施設ではなく、地域との交流を保ち、施設利用者が社会参加を目指せる新しい施設を作りたい。常成福祉会は、ノーマライゼーション思想の福祉を「常成る（つねなる）福祉」と和訳し、あたりまへの幸せを目指す会として設立されました。



前頁石碑の裏面(法人設立のゆかり)



丹沢の表尾根をのぞく



あえて経験者を集めずに、ゼロから創ることにこだわった施設。施設長は皆の気持ちを一つにしようと、毎月の給料袋に思いを込めて5年間手紙を入れ続けました。その手紙をまとめたものが「福祉のこころ」。法人職員の原点です。

福祉のこころ（平成9年発刊）



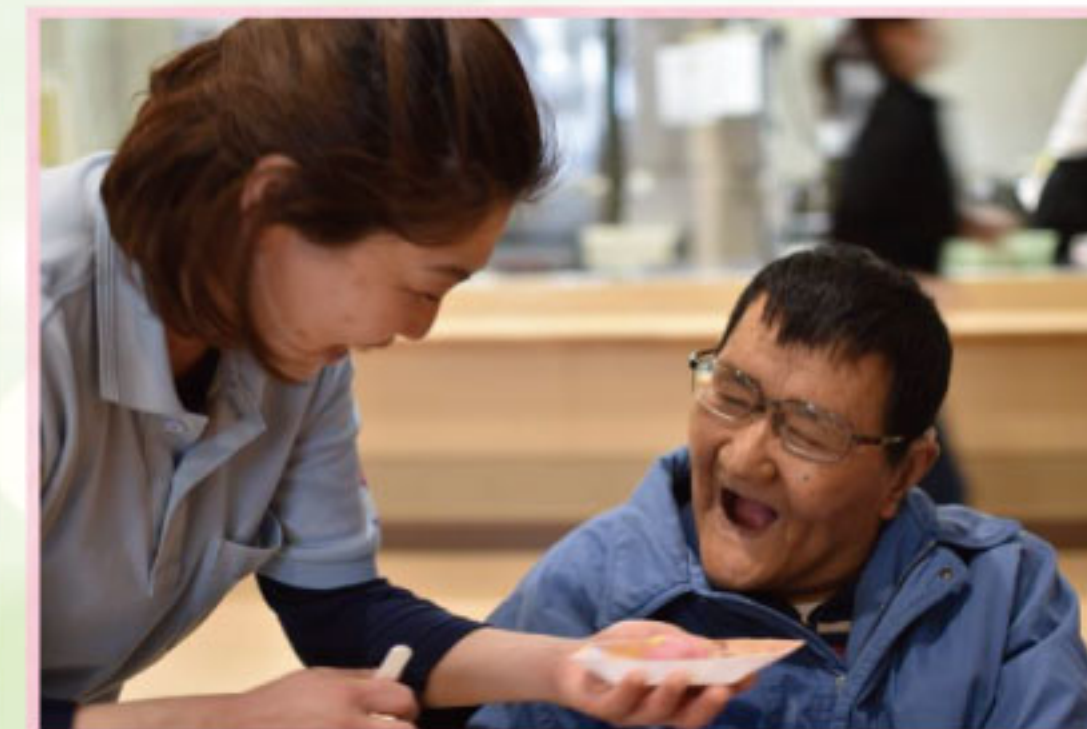
丹沢レジデンシャルホーム

（施設入所支援・生活介護）

～ Since1990 ～

「あたりまえ」の生活を実現したい

「あたりまえ」の内容は、人それぞれ。障害があっても、自分のことは自分で選んで決めたい。そんな思いを私たちは全力で支援しています。



花鳥デイサービスセンター

（生活介護）～ Since1990 ～



ここで何かを見つけよう！

心地良い居場所で、自分のやりたいことを見つけて取り組めるようにサポートしています。リハビリ、おしゃべり、趣味活動。一人ひとりの自主的な活動を尊重しています。



色んな活動や行事もあって、自由に選んで参加できるんだ。

丹沢自律生活センター総合相談室

～ Since2006 ～

いち早く「相談支援」を重要な機能として位置づけ、平成5年に相談事業を独自に開始しました。サービスの利用案内にとどまらない相談援助。後に制度化され、現在では「計画相談支援」という福祉サービスになって広く普及しています。



相談員も相談できる相談室

「独り職場」になりがちな相談支援の仕事。当相談室の最大の強みはチーム力にあります。



第2次施設整備計画 1995～ (平成7年)

平成 8 年 10 月 1 日 秦野ワークセンター開所

平成 10 年 11 月 1 日 秦野市保健福祉センター

デイサービスセンター受託 (現・あじさい)

平成 15 年 4 月 1 日 花鳥地域生活支援センター開所

秦野ワークセンター ～ Since1996 ～
(就労継続支援 B 型・生活介護)

一人ひとりの「働きたい」を大切に

仕事もレクリエーションも一生懸命。わくわく Work の秦野ワークセンターです。一緒に働くことは、ともに生きること。仕事を通じて一人ひとりが自己実現を叶えていく場であることを目指しています。

あじさい ～ Since1998 ～
(生活介護・日中一時支援)



散歩を通じて暮らしを豊かに

重複障害や医療的ケアが必要な方のデイサービスです。重い障害があっても積極的にお散歩に出掛けて、季節の風や草花の香りを楽しんでいます。小規模できめ細かいケアを提供しています。

花鳥地域生活支援センター (居宅介護)
～ Since2003 ～



気持ちが一つになるように

地域で暮らす方の生活を支えるヘルパー事業所です。身体障害の分野で培ってきた本人主体の姿勢と、ご家族も含めた三者満足の調和を大切に考えています。

第3次施設整備計画 2008～ (平成20年)

平成 21 年 4 月 1 日 ときの家開設

ときの家 (日中一時支援) ～ Since2009 ～



畑のおじさんこんにちは～ ☺

お散歩を通じた地域交流を大切にしています。ゴールデンコースは菩提の茶畑コース。地域の方々に見守っていただきながら、放課後の支援をしています。



第4次施設整備計画

2012～ (平成24年)

平成 24 年 4 月 1 日 たんぽぽ教室受託

平成 24 年 5 月 1 日 秦野市障害者虐待防止センター受託

たんぽぽ教室 (秦野市児童発達支援事業) ～ Since2012 ～



みんなおいでよ!

みんなで「よかった」を感じよう!

就学前のお子さんの成長や発達を支援しています。楽しく、参加しやすい療育の場。利用して「よかった」と実感してもらるように。職員もまた、成長を

お手伝いできて「よかった」と実感できるように。みんなが「よかった」と感じる場所になることを目指しています。

ライツはだの ～ Since2012 ～
(秦野市障害者権利擁護センター)

障害者虐待防止センターの民間委託は全国でも 2 割くらい。法人で培ってきた権利擁護のノウハウを地域に役立てているんだ。



そして第5次施設整備計画の策定へ 2020～ (令和2年)

常成福祉会の理念の実現は、まだ

理念の実現に向かってこれから始まる物語・・・

道半ばです。ともに生きる豊かな地域社会へ。30年間培ってきた専門性を新たな時代に発揮できるよう、更に地域福祉の推進に努めます。そして、障害のある方もない方も、すべての方々が心豊かに暮らすことができる社会を目指します。

だから みんなで ありがとう

ONE TEAM!



栄養士、調理員、事務、清掃スタッフ、看護師…。施設サービスは直接介護にあたる生活員だけでは成り立ちません。施設サービスは多くの職種の職員、組織間の相互連携によって完成します。



常成福祉診療所

誰でもフツと立ち寄りたくなる場所

少し立ち寄って話す。ちょっとこぼしたり、一緒に笑ったり。心も体も、そして気持ちもケアする場所。診療所はそんなところであり続けたいと思っています。



総務・財務担当

縁の下の力持ち

総務は法人の窓口。色んな依頼や難事件(!?)が日々舞い込みます。常にジェントルで、社会の常識に沿った対応。「普通」で「ちゃんと」を大切に、みんなの日常を支えています。



栄養管理担当

ホッとする味にこだわって30年

施設は暮らしの場。だからホッとする家庭の味を大事にしています。季節の食材。手作り。家庭と同じ食器。一つ一つは細やかですが、大事なこだわりです。あたりまえの食の安心を守っています。



環境支援スタッフ

快適な暮らしを支える

建物や設備は古くても、掃除や手入れが行き届いている環境を守りたい。特に「におい」には気を配っています。



常成福祉会は設立時から「小規模・多機能・複合型の総合福祉施設」というコンセプトを大事にしているよ。身体障害の分野で培った普遍的な専門性を基礎として、総合的に地域の福祉ニーズに応えていくことを目指しているんだ。

サポーターのみなさん

技術ボランティアさん (クラブ活動や生産活動の技術指導など)



華道クラブ 大津先生



陶芸 相原先生



音楽クラブ
相原先生・三溝先生



絵画 山田先生

法人は地域の様々な人に支えられています。沢山のサポーターの方々の中から一部をご紹介します。



タクティールケア・指ヨガ
チームふじさんず

暮らしを支えて下さっているボランティアさん



「理容カタクラ」の片倉さん。
施設開所時から30年間!親子二代
でお世話になっている床屋さんです。



「障害者の自由な移動をすすめるハン
ディキャブの会」(代表・布川さん)
外出のサポートでお世話になっています。



なでしこ傾聴の会
(大場さん)

第三者委員

法律相談

権利保障や専門相談



春田委員



鎌田委員



久田委員



石森専門委員 (弁護士)



ローリングバレーボールの練習風景。
大会に向け、レシーブ練習に熱がこもります。(丹沢レジデンシャルホーム)



四つ葉のクローバーは見つかるかな？
(ときの家)



お風呂上がりでサッパリ♪
ヘルパーの仕事風景その①
(花鳥地域生活支援センター)



見て触って動かして。療育の一コマです。
(たんぽぽ教室)



クラフトバンド製品づくり。
皆職人さんです。
(秦野ワークセンター)



毎年楽しみな花壇のみかんの収穫。今年は豊作ですね。(花鳥デイサービスセンター)

Sketch Collection

～ One Day ～ 日常の一コマを集めてみました

法人の事業所名
もちろん、ここ
は「TANZAWA

には「自立」ではなく「自律」という言葉が用いられているよ。
にも法人の思いが込められているんだ。ちなみに英語表記の場合
INDEPENDENT LIVING CENTER」と表記するよ。
(丹沢自律生活センター)



お味はどうですか？栄養士が直接聞いて回っています。
(丹沢レジデンシャルホーム)



コンビニでおやつを選んで
います。新製品が多くて
悩む～。(あじさい)



「移動補助用具」で階段を
下りています。息を合わせ
るのがポイント！ヘルパー
の仕事風景その②



今日はみんなで梅を見に来ま
した。(花鳥デイサービス
センター)



訓練室でマッサージ。筋肉の
緊張をほぐすリラクゼーシ
ョン施術を受けています。
(丹沢レジデンシャルホーム)



お散歩の途中で見つけま
した。今日は良いことが
ありそう♡(あじさい)



何も言わないでそばにいて
欲しい時って、ありますよ
ね。(丹沢レジデンシャルホーム)



ボランティアさんとお出
かけ。お天気で良かった♪
(丹沢レジデンシャルホーム)



身支度を整えてデイサービスに出
発します。ヘルパーの仕事風景その③



「美味しいねコレ」という声
が聞こえてきそうな笑顔
ですね。(花鳥デイサービス
センター)



片手での細かい作業なの
で超集中してます！(秦
野ワークセンター)



中井中央公園まで足をのばし
ました。広くて気持ち良いで
すね。(丹沢レジデンシャルホーム)

創る



「とかわサポートセンター」※1では自治会や長寿会の方々に活動場所を提供して、住民の交流（コーヒーをたしなむ会など）をサポートしているよ。

※1 花鳥地域生活支援センターと、ときの家の特約事業



「彩り茶房」は、地域で暮らす障害のある方や、そのご家族が、気軽に参加できる集いの場であり、居場所です。ボランティアさんと一緒に運営し、平成18年から月に1回、市保健福祉センターで開催しています。参加費無料。障害種別を問いません。



地域と

～社会福祉法人と
制度にとどまらない
して、福祉サービス
地域のニーズに応え
そこから新たな福祉
しています

ともに

～しての取り組み～
地域福祉の担い手と
の利用者だけでなく、
る取り組みを実践し、
サービスをつくり出し



施設には災害時用の備蓄があるよ。だから地区の自治会の皆さんと「いざという時は助け合いましよう」という「防災相互協定」を結んでいるんだ。（平成4年～）

はぐくむ



車椅子講習会



地域の方との交流会



平成21年4月に開設した「ときの家」は、「地域に障害のある子どもの放課後の居場所がなくて困っている」という相談を受けて創られたんだ。当時はまだ「放課後等デイサービス」も制度化されていなかったからね。



支える



IT講習会。パソコンやインターネットに興味がある障害のある人を対象に、パソコンを生活の中で役立つ道具として使っていただくために、年に2回開催しています。秦野市立北公民館、丹沢パソコンクラブ、当法人の3者で共催しています。



被災地の支援活動に法人職員を派遣する取り組み。（神奈川県身体障害施設協会の取り組みなど）。広域的なネットワークを築きながら障害のある人の暮らしを支える仕組みを創っていくことも、社会福祉法人としての重要な役割だと考えています。

つながる

障害のある人の生活をよりよくするための、広域的な協議会を運営し、地域づくりに協力しています。湘南西部における相談支援事業所などのネットワーク活動を主催したり、県の研修へ講師を派遣したり、相談員を支えるための事例検討会などの活動をしています。（湘南西部圏域地域生活ナビゲーションセンターの受託）



地域の方への感謝を込めて毎年開催する「秋まつり」。地域の菩提自治会連合会に後援いただき、実行委員会には地区の自治会長さんや北地区民生児童委員協議会の会長さんにもご参加いただいています。高齢の一人暮らしの方を招待するほか、例年地域の家族連れで賑わいます。



次の世代へ

30年前はどうだったのか？

今はどうか？ 何が変化したのか？

…そして、変わらないものは何か？

丹沢と一緒に
働きましょう！



ひとりひとりが
社会 **HERO'S**
福祉

<http://www.shafuku-heros.com/>



who will inherit the next generation

～look for the future～

思い

自分らしく生きたいという思い。その願いに対して、自分にできることをしたい。この気持ちは、バイク事故で障害を負った方との出会いから芽生えました。身体や認知面に障害のあるその方は、働いて、素敵な女性と結婚し、家庭を持ちたいという夢を持たれていました。私はその方との出会いを通じて、障害のある人が自分らしく生きること、夢を叶えていくプロセスに、もっと携わってみたいと思いました。

キャリア

常成福祉会の理念は、自分が抱いていた支援観と合致していたため、この場所でチャレンジしてみたいと直感的に感じて就職しました。それから二十数年、自分自身のスキルアップにも努めながら、法人職員や地域の関係者の人たちと協力し、様々なことに取り組み、今に至ります。

未来に向けて

障害のある人がもっと当たり前、自分らしく生活できる社会を広げていくために、法人が積み上げてきた経験やノウハウ、ネットワークを生かしていきたい。これを推し進める私たちのチームには、新たな発想や思い、志のある若き力が必要です。悩みや苦しみ、楽しさも大変さも共有しながら、未来と一緒に創っていきましょう。



丹沢レジデンシャルホーム
施設長 岡西博一



自由

自主

自律

Mission & Philosophy

「誰もが地域で安心して暮らせる社会」こそ普通の社会。私たちはそのミッションの実現のために自由・自主・自律の調和という理念を掲げています。

法人の「強み」を生み出す
人材育成の仕組み

career path キャリアパス

一人ひとりのキャリアアップの道標をしっかりと整えることで、魅力ある職場であり続けることを目指しています。

ポイント① 一人ひとりの目標管理

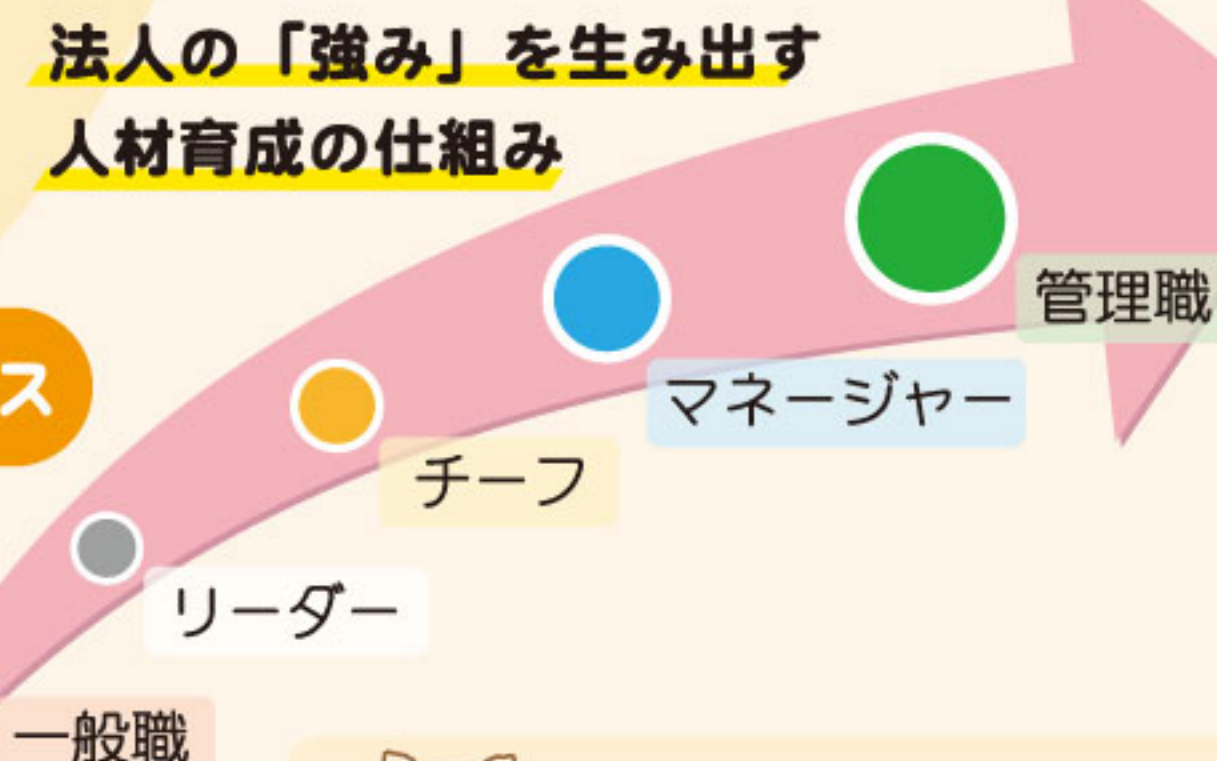
定期的に上司と面接をして目標を確認し合い、一緒に成長を目指します。

ポイント② 資格取得をバックアップ!

職員一人ひとりの学習意欲と資格取得を応援します。必要な研修の受講はもちろん、職員個人が受けた研修を受講したり、取りたい資格を取得するための支援制度があります。

私は丹沢レジデンシャルホームで約12年間経験を積み、その後現在の相談支援の部署に異動しました。常成福祉社会には色々な部署があるし、初めは経験や資格がなくても、人として、社会人として、専門職として、仕事をしながらキャリアアップしていける職場環境だと思います。入社したての頃に、介助の仕方を利用者さんから厳しく教えていただいた経験や、先輩職員から教わったことは、今でも私の原点になっています。

実践教育部会 伊藤チーフ



働きながら介護福祉士の資格を取りたい!

1人じゃない!

だからがんばれる!



奨学金の返済を支援する制度を、法人独自に定めてるんだって。学生を応援しているんだね。



【最若手からスタート】18歳で入社。昨年介護福祉士資格を取得しました!
【丹沢レジデンシャルホーム勤務: 入社7年】



資格取得に法人の助成制度を利用させてもらいました。これからも自分を成長させていきたいです。

【他職種から転職】子育てと変則勤務の両立で必死でした。
【丹沢レジデンシャルホーム勤務: 入社20年】



小学校の教員から42歳で転職。子どもは多感な年頃だったので心配を掛けました。定年した今は再雇用で仕事を続けています。

【専門分野の魅力】
【花鳥地域生活支援センター勤務: 入社13年】



脊髄損傷の方との出会いが、身体障害の分野を選んだ原点です。対人援助の面白さが凝縮されている分野であるように私は思います。

【職住近接♪】調理員として給食の調理を担当しています。
【栄養管理担当: 入社6年】



近所なので通勤が楽です(笑) 私は調理。娘は入所して変則勤務。親子でお世話になっています♪

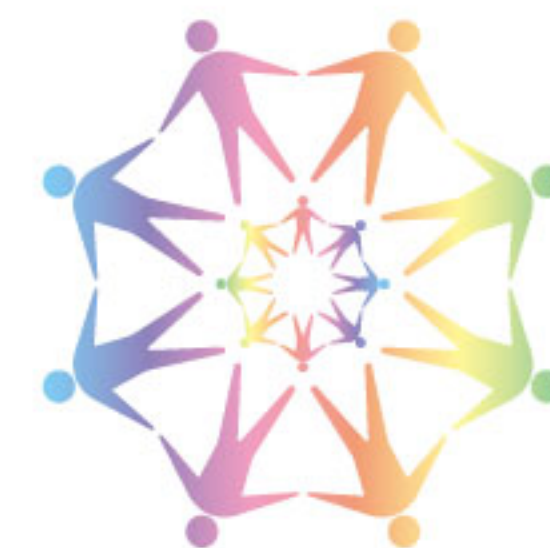
【志は自然な気持ち】福祉の仕事は念願でした。
【秦野ワークセンター勤務: 入社16年】



職員と利用者さんという感じではなく、仲間と一緒に働いている感じのワークセンターが好きです。

この人あり

働き方それぞれ



【パートで復帰】子育てのためにいったん退職。パートで復帰しました。
【あじさい勤務: 入社12年】



常成福祉社会は考え方や理念がしっかりしているので、復帰しやすいと感じる人は多いと思いますね。

【入社後もコツコツ】働きながら勉強して、社会福祉士の資格を取得しました。
【あじさい勤務: 入社19年】



変則勤務をしながらの勉強は大変でした。でも諦めなければ大丈夫! 僕は12年掛けましたから笑 手話の勉強も続けています。

【短時間勤務】通所される方の送迎を担当しています。
【秦野ワークセンター勤務: 入社1年】



地域のお祭りでスカウトされました笑 仕事は朝と夕方の送迎車の運転です。とにかく安全運転を心がけています。

暮らしを支える Life Support

不慮の事故に遭い、身体や脳の機能に障害を負った仲亀さん。仲亀さんは事故後、病院での治療やリハビリを終えた後、2年間丹沢レジデンシャルホームで生活されていました。その後一人暮らしにチャレンジし、すでに10年以上が経過しています。仲亀さんはどのように施設からの「地域移行」を実現し、現在どんな暮らしをされているのでしょうか。



今の暮らしには本当に満足してるし、最高です。大好きな「みのりの家」に通って、家ではヘルパーさんに美味しいご飯を作ってもらったり、お風呂を手伝ってもらったり。今一番の楽しみは孫の成長かな。



お掃除タイム。
出来ることは自分でやるんだね。

やっぱり家族は心配だから反対するし、自分でも最初はアパートで一人暮らしなんて想像もしていなかったかな。担当の職員さんから「応援しますよ」って言われて、だんだん自分でも「できるかも」、「叶えたい」って気持ちが強くなっていった感じ。職員さんと1つ1つ一緒に考えて、練習したり話し合ったり。だんだん応援してくれる人が増えてきて、会議にはアパートの大家さんまで来てくれて。本当にうれしくて泣いちゃいそうでした。泣いても良い？泣かな～い～で～（館ひろし風に）



近所の魚屋さんでお買い物。今日はおススメのカツオのお刺身にしました。初経で一杯ですね。



お金の管理も心配だったけど、家庭裁判所が選任してくれた保佐人さんが管理してくれているから安心なんだ。障害のある人が地域で暮らす上で、とっても大事な制度だね。

色んな福祉サービスを組み合わせて利用しているんだ。応援団だね。

- ・デイサービス週3回
- ・訪問看護
- ・家事援助
- ・通院の付き添い
- ・入浴支援
- ・訪問マッサージ など



担当の相談員さんが調整を手伝ってくれるのも心強いね。訪問看護では、薬の管理とリハビリもするんだって。

仲亀さんの地域移行支援

家族のこと、身体のこと、生活のこと。多くの心配を乗り越えて、希望する生活を実現した仲亀さん。その支援のごく一部を紹介します。



本体の別棟にある「自律生活体験室」
仲亀さんはまずここで一人暮らしのシュミレーションを重ねました。



ボタンを押すと24時間施設に繋がる緊急通報システム。施設が在宅で生活する方にとっても拠点となるように、平成10年に法人独自に運用を開始したシステムです。現在は携帯電話の普及等により運用を終了しましたが、当時は夜間や休日の安全をどう確保するか、という問題が地域生活のネックの1つでした。仲亀さんもこのペンダントを身に付け、ベッドへの乗り移りに失敗した際などに活用されました。



松井マネージャー

仲亀さんの支援を担当させていただいた経験は、自分のキャリアにとっても大きな財産になりました。介助（介護）だけが自分たちの仕事ではなく、生活を支援すること。ご本人の希望する生活の実現をお手伝いできたことは、この仕事に就いて良かったと思える出来事でしたし、今も誇りに思っています。

障害による難しさは沢山ありましたが、仲亀さんには強みも沢山ありました。それに気付けたこと。また、なによりもご本人が自分で選んで決められたことが良かったと思います。

地域移行に際しては、相談支援やヘルパー事業所との連携がとても重要です。その点、仲亀さんの支援では、法人の「小規模・多機能」の力が大いに発揮されたと思います。



ふあぽ

Favorite

制服があるって便利



「着るものに悩まないのも意外とポイントが高い」という声の多い制服。他にもトレーナーや入浴介助用のTシャツがあります。カラーバリエーションがとっても豊富！

秦野ワークセンターでは素敵な商品
を続々リリースしています。心のこ
もったプレゼントにどうぞ。

詳しくはリニューアル後のHPで♪



丹沢の自然豊かな環境も
魅力の1つです。

初夏にはホタルが
飛んでくることも！



ふくころ



社会福祉法人 常成福祉会

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2



お問い合わせは
こちらから



丹沢レジデンシャルホーム
花鳥デイサービスセンター
秦野ワークセンター
あじさい
花鳥地域生活支援センター
ときの家
たんぽぽ教室
丹沢自律生活センター総合相談室
秦野市障害者権利擁護センター ライツはだの

<https://www.jousei.or.jp>
TEL.0463-75-3300

発行日：2020年（令和2年）10月1日

Designed by OfficeBASE.Co.,Ltd.